

意味を持った“冠”の例

安 うかんむり 冠 屋根の象形で、家の意味を表わした部首です。
安 = 家に女がいれば、安心していられます。会意字。

空 あなかんむり 冠 穴の意味の部首。
空 = 穴は何にもない部分ですから、“何もない”“から”という

意味を表わした字。空屋あきや。また、何もない“そら”の意味にも使います。
“空気”は、目に見えないので、“何もない”ようだから“空気”と言いました。音は工クウで、形声字。

草 草冠 草の意味の部首。
草 = 早そうは発音を表わしたもので、形声字。

花 = 草のお化ばけ。会意・形声字です。

筆 たけかんむり 冠 竹の意味の部首。
筆 = 聿は筆を手にした象形字。柄が竹なので竹を加えました。

音は聿ひつ、会意・形声字です。

雲 雨冠 天気、気象に関する言葉を表わす部首。
雲 = 古い字は単に“云うん”で、これは雲の象形です。雨を降ら

す云ということで“雨”を加えました。会意・形声字。

発 はつがしら 発頭 両足をそろえた形を表わした部首。
発 = 両足をそろえた形で、これから“出かける”ことを表わしました。

登 = “上の方へ”出かける”ことを表わした字です。音は豆とうなので、形声字。

孝 おいがしら 老頭 老人の意味の部首。
孝 = 老人を子が背負う形で、会意字です。音は彡こうなので、形声字でもあります。